



洞爺湖町

議会だより



6月24日
今回で最後の開催と
なった「洞高カフェ」



主な内容

- 議長・副議長就任あいさつ2
- 各常任委員会紹介 5・6・7月会議 審議内容3~ 4
- 一般質問 8名登壇.....5~12
- 視察・研修会報告13
- 編集後記ほか.....14

No.37

5・6・7月会議

2015.8

就任ご挨拶



議長

佐々木 良一

この度の改選により議長に就任しました佐々木良一です。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今、日本が人口減少化社会を迎える中、私達の町洞爺湖町も急激な人口減少、高齢化社会を迎えその対策が急がれます。洞爺湖町は合併して来年十年目を迎えます。今迄は諸課題の解決に時を費やして来ましたが、これからが本場に大事な時期と思っています。

これからどんな町にして行くか、国の地方創生事業と併せて洞爺湖町の将来の道筋を作り上げて行く大事な時期に議会の果たす役割の大きさを考える時、その責任の重さを痛感致します。

本当にこれからが虻田、洞爺の特徴を生かした希望のもてる町づくり、合併効果の期待出来る地域づくりをして行かなければなりません。

一次産業と観光の結びつき、エネルギー、食糧の地産地消と合わせた地域内経済の循環化、教育、文化、人づくり、老人福祉の問題など課題はたくさんありますが、それらを少しでも良い方向に導けるよう議会内での議論の活発化はもとより、飛び出す議会として町民の皆様との対話を重ねてまいりたいと思っています。洞爺湖町は色々な資源に恵まれた町です。あまり悲観することなく、先に希望をもって進みたいと思います。

何よりも町づくりは町民の皆さんが声をかけ合い、元氣を出して行くことが大事と思います。

私達洞爺湖町議会も、元氣な町づくりに向け一生懸命頑張つてまいりますので今後共町民の皆様のお指導、御支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



副議長

下道 英明

このたび、副議長に就任しました下道英明です。ここにご挨拶申し上げます。

全国的に少子高齢化と人口減少が進む中、地域の自立と持続可能な社会の再構築が強く求められております。人口減少社会を悲観的にとらえることなく、洞爺湖町の魅力を活かした希望ある転換点として時代を認識し、明るく元氣な町づくりに向け努力すべきです。

誰もが安心して暮らしやすい町づくりを進めるために、様々な課題の解決に向け、町民の皆さまの声に耳を傾け、一層活発な議会活動を展開していきます。

議会が町民に開かれた透明性の高い議会運営、町民に親しまれる議会となるよう議長を補佐し取り組んでまいりますので、町民の皆さんのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

委員会構成が決まりました

◎は委員長
○は副委員長

経済常任委員会



◎大西 智 ○沼田 松夫 千葉 薫功
小松 晃 板垣 正人 篠原
下道 英明

総務常任委員会



◎五十嵐篤雄 ○七戸 輝彦 岡崎 訓
越前谷邦夫 高臣 陽太 立野 広志

議会運営委員会



◎小松 晃 ○岡崎 訓 越前谷邦夫
五十嵐篤雄 七戸 輝彦 大西 智

議会広報常任委員会



◎立野 広志 ○高臣 陽太 岡崎 訓
五十嵐篤雄 大西 智 沼田 松夫 板垣 正人
下道 英明

平成27年5月会議 (5月11日開会)

統一選挙後、初めての議会が5月11日に開会されました。正副議長、西いぶり広域連合議会及び西胆振消防組合議会の各議員、各委員会の構成が決まり、議会の新体制がスタートしました。

また、専決処分報告3件、固定資産評価審査委員会委員選任の同意3件、監査委員選任の同意、平成27年度補正予算を原案通り可決しました。

【主な議案の審議内容】

● 報 告

- 専決処分の報告（洞爺湖町 税条例等の一部改正）
法の改正に伴う条例の改正
- 専決処分の報告（洞爺湖町 国民健康保険税条例の一部改

正)

- 法の改正に伴う条例の改正
- 専決処分の報告（平成26年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算）
地方交付税額の確定等に伴う補正予算。

● 同 意

- 固定資産評価審査委員会委員の選任
3名の選任について同意。
- 監査委員の選任
議会選出監査委員の同意。
越前谷邦夫議員

● 補正予算

- 公共下水道事業特別会計
公共下水道根幹的施設の建設工事委託に係る債務負担行為補正。

平成27年6月会議 (6月16日、18日開会)

平成27年6月会議が6月16日から18日まで開会され、町

長から提出の報告1件、工事請負契約の締結1件、工事委

託協定の締結1件、補正予算6件を原案通り可決しました。また、議員提案の意見書2件を否決しました。
 なお、8人の議員が一般質問を行いました。

【主な議案の審議内容】

繰越明許費繰越額の報告

○平成26年度虹田郡洞爺湖町一般会計繰越明許費繰越額の報告
 民間大規模建築物耐震診断補助事業、地域生活等緊急支援事業の2件について、平成27年度へ繰越する金額の報告

契約・協定の締結

○工事請負契約の締結
 洞爺湖町防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事。
 ○工事委託協定の締結
 洞爺湖町公共下水道根幹的施設の建設工事。

補正予算

○一般会計
 歳入歳出をそれぞれ9,166万円増額。主にふれ愛セ

ンターの改修、伏見橋復旧整備などの事業による増額補正。
 ○5特別会計
 前年度からの繰越金等による補正。

意見書

○憲法を守り、日本を海外で戦争することを可能にする戦争立法の廃案を求める意見書
 ○消費税増税の撤回を求める意見書

平成27年7月会議（7月10日開会）

平成27年7月会議が7月10日の1日間開会され、町長から提出の補正予算1件を原案通り可決しました。

【主な議案の審議内容】

補正予算

○一般会計
 総務費を600万円増額し、予備費を600万円減額するもので、姉妹都市である箱根町に対する支援事業による補正予算。

会派構成

(◎は各会派の代表)

■有志会
 ◎篠原 篤
 五十嵐 篤
 千葉 葉
 大西 篤
 市民連合
 ◎小松 晃
 岡崎 英
 下道 明

■公明党
 ◎板垣 正彦
 七戸 輝
 一松 松夫
 沼田 邦夫
 越前谷 邦夫
 無党派
 ◎佐々木 良一
 立野 広志
 高野 陽太

意見書審議結果（平成27年6月会議）

議員名	岡崎	越前谷	五十嵐	高野	千葉	立野	小松	沼田	板垣	七戸	篠原	大西	下道	結果
意見書の内容	訓	夫	篤	陽	篤	志	晃	夫	正	輝	功	智	明	
憲法を守り、日本を海外で戦争することを可能にする戦争立法の廃案を求める意見書	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	原案否決
消費税増税の撤回を求める意見書	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	原案否決

※○：賛成 ×：反対（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

一部事務組合等選出議員

◆西いぶり広域連合議会議員
 下道 英明
 五十嵐 篤
 篠原 篤
 板垣 正彦
 岡崎 訓



LGBTの皆さんが ありのままに暮らせる町に

七戸輝彦 (公明党)

質問 1

LGBTの皆さんが、ありのままに暮らす事が出来る町づくりについて

問 東京都渋谷区で、全国の自治体に先駆け、同性カップルを結婚に相当する関係と認める「パートナーシップ証明」が発行される事となった。これに対する町長の考えを伺いたい。

答 私自身も初めて触れる問題であり、少し戸惑っているというのが、正直なところ。制度の理解や、性的少数者の方々への正しい認識を持つ事が必要だと考えています。そのために、国の動向や社会情勢を踏まえながら、どのように取り組めば、その方々が地域で幸せになっという事が出来るのか、これから一生懸命勉強して参りたいと思います。

問 LGBTの皆さんは、ある意味、偏見や差別に苦しんできた。同性カップルは法律上夫婦と見なされない

め、公営住宅の申し込み要件も厳しい扱いとなる。この事について、夫婦と同じと見なすことは出来ないか。

答 公営住宅については、公営住宅法に基づき、国と協力して、住宅に困窮する低所得者層に対し、低い家賃で賃貸しています。洞爺湖町住宅条例での入居資格は、

- ・高齢の単身者
- ・体のご不自由な方
- ・入居者に同居しようとする親族がいる方
- ・夫婦や家族がいる方のほか、事実婚のカップル、結婚予定のカップルなど

となっており、同性カップルは入居できない状況です。今後は、同性カップルの入居について、町営住宅の運営上の取り扱いも踏まえ、慎重に研究して参ります。

問 東京都渋谷区で同性パートナーシップが設けられた事で、この流れは全国に広がる事と思う。町長には先進的な取り組みを願うが、

答 これから勉強しながら皆さんとともにいい知恵を

出して参りたいと思います。

LGBTとは

Lとはレスビアン、Gとはゲイ、Bとはバイセクシュアル(両性愛者)、Tとはトランスジェンダー(自身の性に著しい違和感を持っている方などの頭文字を取った言葉。性的少数者、性的マイノリティーなどと訳され、人口の5%を占めるとの調査結果もある。)

質問 2

高齢の方に優しいバスのあり方について

問 コミニティバスに、ノンステップバスを導入するか、もしくは同様に改造して頂くように3月会議で質問した。町長は極めて前向きな答弁をしたが、その後はどうなっているか。

答 ノンステップバスへの改造は難しく、バス会社所有のノンステップバスは車幅があり、細い道を通るのが難しいという事もあります。早急に検討して参ります。

問 某スーパー前のバス停付近のベンチが取り払われ

たが、高齢者が不便している経緯と対策は。

答 このベンチについてはスーパーの善意で設置していたものです。看板の下に設置しており、札幌での看板落下事故を受け、取り払ったと聞いています。今後は、開発建設部と、3人掛けベンチを設置する事を協議していますので、今少しお待ちください。

質問 3

町文化財の指定について



問 民間所有のレトロな建物が、町内から次々と姿を消している。何らかの形で残して頂きたいと思うのだが。

答 町内の建物及び構造物につきまして、古い年次のもを含めて調査して参りたいと考えています。

提言は最大限尊重し 実現にむけ進めてゆく



五十嵐 篤 雄 (有志会)

質問 1

洞爺地区振興策検討 委員会の報告に関して

問 校舎・体育館の跡地活用
の検討と方向性について

答 平成28年度に校舎・体育
館を解体し、翌年度から
保育所と児童公園の整備、室
内競技施設整備（既存施設の
活用含む）と進めていきます。
庁内専門部会で分野別に具
体的な協議検討を進めています。

問 洞青寮の宿泊施設として
の活用の協議と方向性
について。

答 宿泊交流施設としての活
用を基本としたかと思っ
ている。経営形態、運営経費、
採算性、民間企業等への貸与、
児童館等の活用など専門部会
で検討をしています。

問 農業後継者や高齢化の現
状をどう捉えて対策を考
えているのか、定住につな
がる新規就農はどうか。

答 地区別の経営主の平均年
齢は、洞爺町・旭浦地区
64歳、成香地区57歳、香川地

区59歳、大原地区58歳、財田
川東・岩屋地区で73歳とい
う現状です。農業後継者につ
いては、経営継承事業という形
で2名の方が研修を続けてい
ます。（新規就農として受入）
高齢化・後継者対策としては、
農地の集積・農作業機械の共
同利用、経営継承事業を考え
ています。

問 定住促進の観点から空き
家の活用は進んでいるか。

答 空き家バンク登録制度に
より売買件数は8件（洞
爺地区2件）・登録16戸（洞
爺地区2戸）という状況です。
空き店舗対策については、チ
ヤレンジショップ支援事業の
利用は7件（洞爺地区2件）
となっています。

問 高齢者の生きがいづくり
としての世代間交流や公
共施設の活用はできているか。

答 旧洞爺診療所を、高齢者
のサロン、郷土資料の展
示施設として、本年度、開始
することにいたしました。

問 郷土資料館の移設につ
いて。

答 旧診療所に移設・展示
します。
一階部分の一部と二階部分
を利用し、郷土の歴史につ
いてわかりやすい解説をそろえ、
分類別・年代別に工夫を凝ら
し、幅広い年齢層に利用され
る施設として収蔵展示を目指
します。



高齢者のサロン・郷土資料が展示される旧診療所

質問 2

商工会地域活性化特別 委員会の提言に関して

問 子育て・教育部会からの
提案で可能になったのは、

答 中学生までの乳幼児医療
費の無料化、出産祝い金
3歳児以下のいこいの家の無

料化、子育てに関する支援策
の周知、子育てサロンの実施
です。

問 洞爺地区を芸術文化地区
と位置づけて「芸術の森」
構想に取組む考えは。また休
止中のビエンナーレ事業の開
催に向けた調査ができないも
のか。

答 芸術文化の環境・資源に
恵まれており、特色ある
芸術の森構想のコンセプトを
持った仕組づくりに努めます。
洞爺美術館の運営にかかわ
って国際彫刻ビエンナーレ再開
の声もあることから実施に向
けた調査研究を行います。



洞爺美術館に展示されているビエンナーレ作品



虻中グランドフェンス 早急に整備を

沼田松夫 (一机会)

質問 1

学校施設について

問 虻田中学校のグランドのフェンスが、一部未整備だがいそいで整備すべきと思うが、どんな認識でいるのか。

答 平成16年2月に愛媛県今治市の小学校の校庭で、放課後に子供が、サッカーで遊んでいて、蹴ったボールが1・3メートルのフェンスを飛び越して、道路に転がり、避けようとしたオートバイの老男性が、骨折などで入院、1年4ヶ月後に肺炎で亡くなった。この事件の判決は、男児の行為は、開放された校庭で、設置されたゴールに向けて蹴ったのは、日常的な使用方法だと指摘、門とフェンス、側溝もあり、保護者の責任は無いとした判決がでました。

虻中の顧問の先生も、校庭の状況を把握しており、車等が通るので十分注意して、ボールを拾いに行く様に、生徒に注意しているところです。

生徒は、車で通行する方にも危険な状態にある事は、認識しており、危険を防止する対策として、早急にフェンスの設置などが、必要と認識をしています。設置にあたって支障となる木の伐採なども検討しています。



虻田中学校グランド

問 洞爺湖温泉小学校及び、旧月浦小学校の校庭にある古い桜が、枯れかけてきている。テング巢病なので早急に撤去すべきです。また洞爺高校、とうや小学校、洞爺中学校でも、数多くの木が病気になるっている。認識を伺いたい。

答 確認したら相当数の桜が病気になるっています。昨

質問 2

泉、入江地区の 振興策について

問 泉地区のいちご団地は、2000年噴火後の泉地区農家振興策で出来たと聞いたが、その後についてどのよう認識しているのか。

答 泉地区では、農地が噴石の被害で、更に砂防ダム建設で耕作面積が減少したため、一定の所得が確保できる施設園芸を中心とした高収益な作物への転換を「有珠山周辺地域農業支援対策事業」によって、いちごハウス団地4棟を4戸の農家が経営してきた。現在は、高齢化に伴い、手作業で、重労働でもあり、

年は、虻田小学校、虻田中学校の桜のテング巢病の対応をしました。現在、町内の公園等を環境整備するため、旧ネイパル洞爺にある桜のテング巢病の作業を行っています。引き続き、各学校のテング巢病に対応して行く事を考えています。

2戸が廃止している。

問 地域振興策として、温泉を掘削できないか。いちごだけでなく、他の野菜も1年中作ることが可能になる。

また、それが実現したら、本町側にも、町民のお風呂が建設可能になるのではないかと。

答 今現在、有珠山周辺について、北海道が「地熱研究所」に再度調査を依頼していて、そのデータを譲っていただけるように要請しています。金比羅山のほうで、バイナリー発電や温泉熱を利用した農業振興策や本町地区の方が高台から内浦湾を眺めるお風呂ができたなら、皆さんに喜んでいただけるだろうな、という夢は持っています。

バイナリー発電とは

地熱を利用した発電方式の1つ。地下からの蒸気と熱水という2つの熱サイクルで低沸点の媒体を気化させ、その蒸気でタービンを回して発電する。

国際観光地にふさわしく 交番ではなくKOBANの設置を



下道英明 (町民連合)

質問 1

交通安全 対策について

問 洞爺湖温泉大通りの交通安全、観光振興の観点から眺湖通り（洞爺湖登別線）の全面開通の事業行程は。

答 当初予定は、平成22年度から平成26年度でしたが、補助金確保の難航で平成28年度完成を進めています。今年度は予算要望額の50%になり予算配分が大幅減ですが、北海道へ国の補正予算等を活用した完成を要望しています。

問 眺湖通りの横断歩道、信号機設置、温泉中学校下の横断歩道整備要望等の進捗状況は。

答 要望事項は、信号機付き横断歩道設置3カ所、横断歩道の設置1カ所、温泉大通り線の法定速度を40キロから30キロへ、及び交番の移設です。伊達警察署、北海道公安委員会、北海道議会への要望活動を継続し実施しています。

問 横断歩道、信号機の設置が難しい状況であれば、眺湖通りの中心に交番移設を提案する。日本各地の主要都市・観光地では、交番をローマ字表記のKOBANに変更し、外国人観光客に安心、安全を与え、一方で地元住民への防犯・治安上も有効だと考える。例として登別市は、源泉公園そばに移転新築し、登別観光PRのキャラクターのモニュメントを設置して観光客の安全を守り温泉街の活性化を目指すとのこと。警察行政の視点からだけでなく、訪日外国人の受け入れ環境整備の視点も取り入れながら交通安全対策の要望活動をしてはどうか。

答 公安委員会では、交番の耐用年数25年を目安として移設・新築等を検討しています。温泉交番は、平成16年建築で、現在10年が経過している状況であり移転は難しいです。交番のローマ字表記は、他の地域でも実例があり、可能である回答を得ています。今後、交通安全対策に関する

要望、提案された事項を含め大きな壁はありますが粘り強く要望します。



洞爺湖温泉交番

質問 2

地域で安心して暮らし続けるために

問 介護保険事業計画における介護の実態は。

答 計画作成に際し、地域包括支援センターで実施の介護が必要になる原因を分析した結果では、認知症を原因とする介護認定者が全国の1.5倍の結果でした。認知症を抱えながら在宅で生活する高齢者が増えるものと考えます。

問 介護の人材確保が大きな課題ですが、町において

人材を育成する目的の講座開設は可能か。

答 介護保険法により様々な要件を満たさなければならず、町が講座を開設することは難しい。資格取得希望者には社会福祉法人で開催している研修会を紹介し人材確保を図りたいです。

問 認知症地域支援推進員の配置の考え、認知症の介護者への支援体制は。

答 本年4月から認知症地域支援推進員の配置を前提に職員の研修受講を予定しています。今後は、国もしくは北海道が開催する認知症地域支援推進員関係研修の受講終了を前提に配置します。また介護者への支援体制としては、介護者の集いの開催を中心に介護者間の交流、介護技術などの情報交換を主な内容として実施しています。本年度配置予定の支援推進員の活動の中で介護者の現状や介護者が求める支援につながるよう、医療・介護・福祉関係機関とも連携を図り、支援体制の強化に努めます。



住民の目線で活性化対策、安全なまちづくりを問う!

岡崎 訓 (町民連合)

質問 1

活性化対策について

問 道道豊浦洞爺線の商店街の山側区間の歩道の整備の要望活動は。

答 3市3町で構成する北海道室蘭地方総合開発期成会において山側地方道路整備を要望し、また胆振総合振興局、室蘭開発建設部、北海道庁、北海道開発局にも随時要望していきます。

問 路線バスの温泉地区と洞爺地区間において、午後の便が減便になり半日待ちになったが、増便の考えは。

答 現在、札幌と洞爺湖温泉間で運行している便は、4往復あります。また、湖畔を回る水の駅と洞爺湖温泉着の便は、7便あります。昨年の10月ダイヤ改正により減便になりましたが、洞爺湖町として、バス路線のダイヤ改正前の便数を要望していました。ただ民間経営の路線運行であり、大変厳しい状況です。洞爺湖温泉と水の駅を結ぶ路線

は、東回りを入れて3路線あり、10往復運行されています。湖畔通り便は午後2時以降5便ほどあり、利用していただきたいと思います。ただ今後ともバス会社と検討しながら、洞爺湖を一周する便で半日ばかりになる部分の改善を目指したいと思っています。



水の駅停留所

問 年配者等の風・雨・雪の中でのバス待ちが見受けられる。とくに洞爺香川入口の路線バス停留所の待合室の設置の考えは。

答 町づくりの観点から、設置されていないバス停留所の待合室の再編を行っています。以前、洞爺地区の路線バス停留所について検討しました。しかし、用地の確保、

質問 2

安全なまちづくりについて

周辺景観の配慮から見送った経緯があります。洞爺香川入口も用地等の問題から設置が見送られました。公営住宅の方たち、高齢者の皆さんから要望がありますので検討したいと思います。なお、現在の場所では、設置が困難なので設置可能な場所への移動を検討し、バス事業者、環境省など関係機関と調整し協議をしたいと思っています。

問 洞爺三〇七番地(曙地区)付近の老朽化した石垣の補修で住民の安全確保の考えは。

答 西曙川の上流部において、過去に河川災害が発生し、村道曙改良工事として、災害復旧工事による河川改修がされました。当該地域については、民有地、私有地におきましては、所有者において対応をお願いしていただきと思います。

問 町道の管理、保全の視点から、町内で一番雪が多く林業の事業が行われている町道洞爺富丘線の道路の早急な補修が必要と考えるが。

答 ご指摘の国道二三〇号線から道道仲洞爺留寿都線までの約5キロメートルの区間は、昨年において痛みが著しい箇所が舗装工事を行い、ほぼ整備が完了しています。ご指摘の補修箇所については、応急的な処置を行い、利用に支障が出ないよう維持補修を行っており、秋ごろに舗装オーバーレイを実施したいと考えています。



大原富丘線

周知不足!「障害者控除認定書」 の活用でもっと減税が可能に



立野 広志

質問 1

安全保障法制を制定しないように国に要求する考えはないか。

問 町長は、過去の戦争が日本の軍国主義による侵略行為だと認識されているか。

答 侵略だとかそういうことは頭の中にはありません。日本を海外で戦争する国につくりかえる戦争立法

に対する考えは。

答 防衛、外交の問題は国の専決事項であり、責任を持って日本を正しい道に導いてくれるものと考えます。

問 町民の暮らし、命を守る立場に立って行政を運営する責任者としては非常に残念な答弁です。今は戦争か平和かの分岐点にある時、平和なまち、平和な国をつくっていくため、反対の声を上げるべきだと思うが。

答 今、政府が考えているのは戦争法案ではなく、平和安全法案の制定で、全く趣旨が違うものと考えます。



北海道弁護士会連合会主催の「わたしたちは戦わない! NO WAR」の参加者。

質問 2

要介護者への障害者控除認定書の発行の促進を

問 平成26年度は要介護認定者数485名に対して、「障害者控除認定書」の発行

件数がわずか3件です。本来申請があれば発行できた件数はどのくらいあったと思われるか。

答 申請があれば、控除認定書を発行したであろう件数は、123件です。

問 特別障害者控除、障害者とながら、これを知らないがために控除の対象から外れる方がかなりいることが明らかとなった。周知を徹底するこ

と、申請主義を改め、認定の可能な全員に交付するといことが必要ではないか。

答 今後、あらゆる手法を通じて制度の周知に努め、該当となる方々に不利益とならないよう対応します。また、この障害者控除認定書をもとに還付申告をいただければ5年間分はさかのぼって還付いたします。

質問 3

防災行政無線、Wi・radio(ワイラジオ)の運用について

問 防災行政無線のデジタル化でこれまでのアナログ通信の問題点がどのように改善されるのか。

答 アナログからデジタルに変わること、「聞き取りにくい」という部分に関しては、全て改善される訳ではありません。ただ、今回、音達調査等を行い、結果を見た中で、その場所に合うスピーカー等を選択し、少しでも聞き取りやすくなるように整備

しております。

問 莫大な設備投資をしながら、聞き取りにくさが改善されないのでは、対策として十分ではないか。

答 整備には、屋外拡声局の音響到達範囲の設定調査、スピーカーの音圧レベル調査、スピーカーの選定を行っています。新しく整備される洞爺地区については、住民に説明し、ご意見をいただいで、地域に合った整備を行います。

問 wi・radio(ワイラジオ)がFMびゅーとの2局ネットワーク方式で放送が開始されたが、室蘭や登別、伊達の話題が中心で、さっぱり地元の話が聞かれないという不満の声が出ています。ワイラジオは、全員ボランティアによる運営で、全員が無報酬です。独自の番組を放送するうえで、専属スタッフを置き、しっかりと番組づくりができるように努力すべきではないか。

答 そのようなことで協議を



住民サービスの向上を!!

板垣 正人 (公明党)

質問 1

住民サービスについて

問 洞爺地区と温泉地区の住民（特に車を所有しない高齢者）の通院や買い物を含め、今まで以上に支援するべきと思うが町の考えは。

答 今後、町民の方からのご意見も届くかと思いますが、問題を整理し、解決のための方策を関係課と連携のもと、検討します。

問 のぞみ団地周辺の学生や高齢者の足の確保を含め、巡回バスを運行するべきと思うが、町の考えは。

答 担当課には、のぞみ団地周辺の、利便性が良くなるような施策を講じるよう指示しています。できれば早い時期に解消できるような対策を講じて行きたいと考えています。

問 高齢者や身障者の私道の除雪を町として協力するべきと思うが。

答 有償ボランティアや学生による除雪活動、町の独

自事業である冬季就労対策事業等での対応も視野に、協議をしていきます。

質問 2

中学校について

問 温泉中学校が来年3月に閉校するが町として閉校するまでのスケジュール等を考えているのかを伺います。

答 (仮称) 洞爺湖温泉中学校閉校記念事業協賛会を立ち上げ、閉校に向け式典をはじめ、記念事業の内容を協議して行きます。また、記念事業の内容が決定しましたら、必要な経費等については、補正予算を議会に提出していき



ます。

問 虻田中学校の新築も考えるべきと思うが町の考えは。

答 第2期のまちづくり総合計画の中で、小学校・中学校の問題をきちんと明記し、検討していきます。

質問 3

東京オリンピックについて

問 2020年に東京オリンピックが開催されるが、誘致も含め、町としての考え方を伺います。

答 国外からの合宿誘致は、今後、積極的に展開して行きます。また、町は現在まで、アイアンマン・ジャパン北海道、洞爺湖マラソン、洞爺グランフォードの自転車競技、これらのスポーツ大会を通じたノウハウや宿泊施設でのおもてなしや接客、多言語対応等は、すぐにでも可能だと考えています。これらをチャンスと捉え、地域の子供たちに夢や交流の機会を与え

るべく、近隣市町村などと連携した誘致活動を展開していきます。

◆質問などは要約されています◆

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

お問合せ／議会事務局 ☎0142-74-3011

防災意識を高めよう



越前谷 邦 夫 (一机会)

質問 1

躍動感あふれる洞爺湖町創生について

問 民間有識者らでつくる日本創生会議から、消滅可能性都市として洞爺湖町は全国91番目に挙げられた。子ども達にも故郷を誇りに思える地域社会創生と提供の責務がある。その打開策と展望を伺いたい。

答 まち・ひと・しごと創生有識者会議が、5月14日に一回目の会議を行いました。住民の方々へ、地方創生にもなうアンケートをお願いしているところです。民間有識者らでつくる日本創生会議から我町は消滅可能性都市という内容ですが、地域住民の方々のご協力を得ながら「消滅都市にさせてはならない」というつもりで行政運営に励んでいきます。

問 地域の未来を決める統一地方選挙、とりわけ、洞爺湖町議会議員選挙で私に寄せられた住民の声はどう対応

するかが、地域創生のヒントになりえるが、はじめに、広場を求める子供達の声が行政に届いているだろうか。

答 いま、公営住宅内にある小公園の整備を行っています。団地内の公園で子供たちが遊んでいる姿が結構見受けられます。団地内の公園はある程度の制約がありますが、何とか設置できるようにしたいと思っています。

問 (仮称)町民福祉交通体系の確立について伺う。

答 昨年末、公共交通網体系の整備を行っておりますが、今のお話を聞きまして、多くの方がまだまだ不十分であるということですので、今一度見直し、しっかりとした交通網体系にしてまいります。

問 民間活力を導入して、独居老人の方への全戸、毎日、一声訪問事業を創設する考えはないか。

答 平成27年3月末現在で、ひとり暮らし高齢者世帯数は769世帯です。提案のひとり暮らし高齢者の見守り施策等ですが、様々な形で民



生委員、自治会、ボランティアの方々が見守りをしているところです。旗を立て、安否確認を行っている2つの自治会もあります。自治会やご近所の方のご理解・ご協力が大前提であることから、旗立て等々については実施自治会やひとり暮らしの高齢者の方から話を伺い検証してまいります。

質問 2

災害に備えて

問 全国的に噴火、地震が多くなか、さらには豪雨の時期に入る。町の防災力は大丈夫か見解を伺いたい。

答 全国各地で小さな噴火活動がおきています。洞爺湖町地域においても、雪が降る時期には雨が降るなど、通常とは違う現象がおきています。9月5日には有珠山噴火を想定した避難訓練を計画しており、規模の大きい訓練になります。全町を挙げて災害対策に取り組んでいかなければなりません。

防災力の強化として、防災行政無線の整備、FM放送の立ち上げ、本年は消防のデジタル無線の整備等、防災関係を集行的に行ってまいります。

有珠山噴火災害という宿命を負っている地域ですので、災害で一人の犠牲者も出さない事を念頭に逐次整備をすすめてまいります。

町村議会議員研修会



札幌コンベンションセンターにて全道町村議会議員研修会が開催され、議員全員が参加し講演を拝聴。
中央大学名誉教授、今村都南雄氏による講演では「地方議会を取り巻く最近の動向」として、第一次地方分権改革（1995年）から20年たった現在までの自治体の変化や課題を説明。その上で「まち

・ひと・しごと創生」政策で注目される人口減少についての異なる見方が紹介された。ひとつは「地方消滅」といわれる「2040年までに896の自治体が消滅する」という見方、もうひとつは、「人口減少社会という希望（廣井良典著）から「拡大・成長路線の発想ではなく、本来の意味の豊かさを追求する発想に切り替える」というもの。今村氏は、「まち・ひと・しごと創生」政策では、当事者意識を持った上で行政、議会だけでなく、住民を含んだ形で討論、意見交換を行う必要があるのではと講演を結んだ。
（高臣）

行政視察報告

上富良野町の自主防災組織について

上富良野町は、1926年、1962年、1988年と相次いで十勝岳噴火による甚大な泥流被害を受けました。同じ活動火山をかかえる町として、災害に備えた住民による自主防災組織の結成と活動内容を学ぶため、7月6日、全議員が上富良野町役場を訪問し、「自主防災組織の活動と行政の関わり」について視察・研修しました。

上富良野町は、88年噴火の前兆が観測され始めた86年頃から、「火山活動の高まりにより、行政が行うべきこと、住民が行うべきことの共有」を目標に、4～5自治会で構成された「住民会」毎に、自主防災組織を結成してきました。現在、27住民会のうち、24住民会で結成されています。町は、自主防災組織に対して、設立補助、防災訓練の費用、地域マップ作製補助、防

災士資格取得の補助（全住民会に1～2名配置、現在41名）を行い、日常の相談や、訓練に関する協力も行っていきます。現在、役員の高齢化や固定化、災害時要支援者名簿の活用方法、災害がないことによ

る心の緩みなどが課題となっているとのことでした。視察・研修に参加した議員が個々に報告書を提出していますので、ホームページでご覧下さい。
（立野）



札幌とつや湖会

日時 六月十三日(土)
場所 KKR札幌

本年度で六十二回を迎える歴史のある会で、会員二十八名、来賓二名、町、議会等から八名、洞爺湖町応援隊七名の計四十五名の出席の下、盛大に開催されました。

田近徳市会長の挨拶から始まり、その後真屋町長の挨拶があり、洞爺湖町の近況報告をされました。その中で昨年は洞爺湖温泉の宿泊客も外国人観光客の増加で、目標の六十万人を突破したこと、百度の源泉が湧出して大変喜んでいる等の話があり、参加者全員が真剣に耳を傾けていました。

その後の総会では、平成二十六年年度決算報告と平成二十七年年度予算が承認され、役員改選では現役員全員の留任が決まりました。懇親会では母校虻田小学校校歌を合唱するなど終始和やかな雰囲気でも楽しい会となりました。

(板垣)

議会のういき

5月

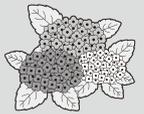
- 1日 会派代表者会議
- 11日 5月会議
- 15日 経済常任委員会
- 総務常任委員会
- 25日 例月出納検査
- 26日 室蘭港フェリー航路誘致促進期成会総会
- 室蘭地方総合開発期成会総会
- 28日 全員協議会

6月

- 1日 議会広報常任委員会
- 2日 会派代表者会議
- 経済常任委員会・協議会
- 3日 総務常任委員会・協議会
- 管内町村議会議長会
- 定期総会
- 9日 議会運営委員会
- 13日 札幌とつや湖会総会
- 16日~18日 6月会議
- 25日 例月出納検査

7月

- 1日 全員協議会
- 会派代表者会議
- 2日 総務常任委員会所管事務調査(洞爺湖町社会福祉協議会)
- 6日 先進地行政視察(上富良野町)
- 7日 全道町村議会議員研修会(札幌市)
- 8日 三重県志摩市行政視察
- 議会運営委員会
- 10日 7月会議
- 全員協議会
- 13日 経済常任委員会所管事務調査(虻田中学校耐震化工事)
- 15日 議会広報常任委員会
- 21日 新任議員研修会
- 23日 千葉縣市川市議会行政視察
- 24日 議会広報常任委員会
- 例月出納検査・水道事業会計決算審査
- 28日 東京都足立区議会行政視察
- 30日 全員協議会



編集後記

議会は「言論の府」

6月会議に、2件の意見書案が議員提案されました。その内の一件について、賛成、反対の双方の立場から6人の議員が交互に発言しました。

採決の結果、一票差で否決されましたが、従来になく活発な議論が交わされました。

議会は、「言論の府」といわれるように、議員活動の基本は言論です。考え方や価値観の違いを当然として、活発な議論により、結論を導き出していく場となるように、心がけたいものです。

「伝える広報」から「伝わる広報」に

改選後、議会広報常任委員会が再編成されました。選挙権が得られる年齢が18歳以上に引き下げられる、改正公職選挙法が成立し、来夏の参議院選挙から施行される見通しとなったことから、若者にも分かり易く、興味が持てる議会広報(「議会だより」と「議会ホームページ」)の工夫がますます大切となってきました。情報を「伝える」ではなく、「知りたい情報が」「伝わる」広報をめざして委員一同決意を新たにしました。

(立野)